

事務事業評価シート

H26(標準事業)

①基本事項	事業コード	事業名	部名	環境産業部
	04067-1	里山公園管理費	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	04:自然との共生	務	款 衛生費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全	科	項 保健衛生費
戦略プロジェクト		目	目 環境衛生費	

②目的・概要	対象	市民
	【実施目的】	市民が郷土の豊かな自然に触れ、親しむことにより、自然への理解を深め、将来にわたり自然を守っていく意識の醸成を図るとともに、憩いの場、情操教育の場及び体験学習の場を提供する。
	【事業の概要】	○平成18年度に開園した本公園を、自然とのふれあいの場として活用すべく、直営の管理人を雇用し、草刈や軽微な整備、来園者への対応を行う。また、開園以来経年により老朽化し始めた施設設備を定期的に補修し、市民の来園時の安全を確保する。 ○魅力ある公園整備、催しを計画することによって、自然とふれあう機会を創出し、市民が、体験学習の場・余暇の充実・安らぎの場等として活用いただき、市民が主体性を持った里山保全や環境活動へ取り組んでいただくよう取り組みを進める。

			24年度	25年度	26年度	
③指標	活動	① 名称 里山公園整備回数	計画値			
		補足 修繕/委託/工事	実績値	3/1/1	1/0/2	1/0/1
			単位	回	回	回
	②	名称 イベント開催数	計画値			
		補足 市民・学校向けのイベント開催数	実績値	5	6	6
			単位	回	回	回
成果	① 名称 里山公園来場者数	計画値				
	補足 年間の里山公園来園者	実績値	12,010	13,271	11,239	
		単位	人	人	人	

年度計画				年度実績				
				【ふれあいの場の創出(里山公園整備)】 ・修繕 遊歩道改修1回 ・委託 0回 (施設管理人により、草刈り実施) ・工事 観察池浚渫、排水管敷設、八橋撤去及び新設 各工事を同時に実施				
				【ふれあいの機会の創出(イベント等の開催)】 ・春のイベント(池干し体験、環境クイズ、丸太切り、緑のカーテンづくりなど) ・田植え体験、稲刈り体験 ・ザリガニ釣り大会 ・芋ほり体験(気象状況、猿害などにより不作につき中止) ・餅つき体験 ・リースづくり				
④事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	7,561	
		事業費		9,931	9,831	一般職員人件費 ②	4,441	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③	0.60	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	3,120	
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		9,931	9,831			
		再	翌年度への繰越額					
		掲	前年度からの繰越額					
			総人件費		①	7,561		
	総コスト		⑥	17,392				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・里山公園整備:遊歩道に利用している八橋の対応年数が5年程度であることから、八橋から木チップによる遊歩道の範囲を拡大したことにより、来園者の安全確保と景観の向上、さらには経費の削減につなげた。また、池の浚渫と排水管の敷設により、池から池への水の流れを確保するとともに、草の繁茂や水の滞留などの解消につなげた。 ・イベント等の開催:市民対象のイベントを開催することで、市民が自然を親て、触れて、感じる機会を創出したほか、地元の小学生を対象に農業体験イベントを実施することで環境教育に関しての利用を図ることができた。また、イベント等への参加者も年々増加しており、来場者も12万人を超えることができた。 ・里山フォトコンテストを開催し、多くの応募を得た。これにより、今後は、写真による里山の魅力を発信していく。	B
		まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	現在、里山公園は、ザリガニ釣りなどに多くの子供たちが来園したり、市内外からも遠足等で多くの利用をいただいているが、里山公園の役割の一つでもある環境教育として、外来種の駆除の必要性等について明確に示していく必要がある。また、里山公園をより有効活用していくための取り組みを更に検討していく必要がある。そのような中、里山公園の管理運営方法についても、今後、民間活用の導入を見据えた検討が必要である。
	【改善の方向性】	イベント等を活用して、在来種の現状や外来種の状況等について伝えていく取り組みを導入していく。また、引き続き、里山公園のPR事業の一環として、里山に生息する動植物図鑑づくりや里山を題材としたフォトコンテストを実施する。 また、管理運営方法については、まず、里山に関わっている市民団体等からの運営にあたっての意見聴取を行っていく。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切